

■別途購入が必要なもの

◎ 動力：アルモデル B4007 アルパワー-N-10.2S（熊本・内大臣の野村式DL用）※Wメタル製ヘッドライト×5個、M1.2x2mmピス×6本、M1.2x4mmピス×2本（他社が取り付け用）付属

◎φ0.8パイプ（排気管用）

◎真鍮線 φ0.4（ブレーキハンドルシャフト、ラジエーター固定ボルト植え込み用）

◎真鍮線 φ0.3（キャブに手スリ追加の場合）

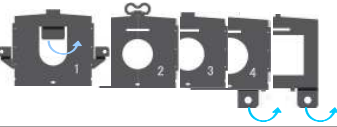
★カブラー：付属のピン/リンクないしはモデルワゴンの朝顔用ピン/先割れリンク使用。他社品の場合はケーティ-#2004ないし各社朝顔型が使用可。

車体組立図

●ラジエーターの組み順



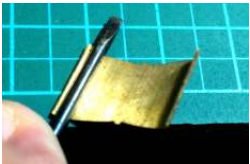
ラジエーターは正面のコアを含め6枚のパーツを重ねて作る。コア正面両端のプロテクター固定ボルト（計6ヶ所 真鍮線植え込み）は好みで。



●屋根の曲げ方



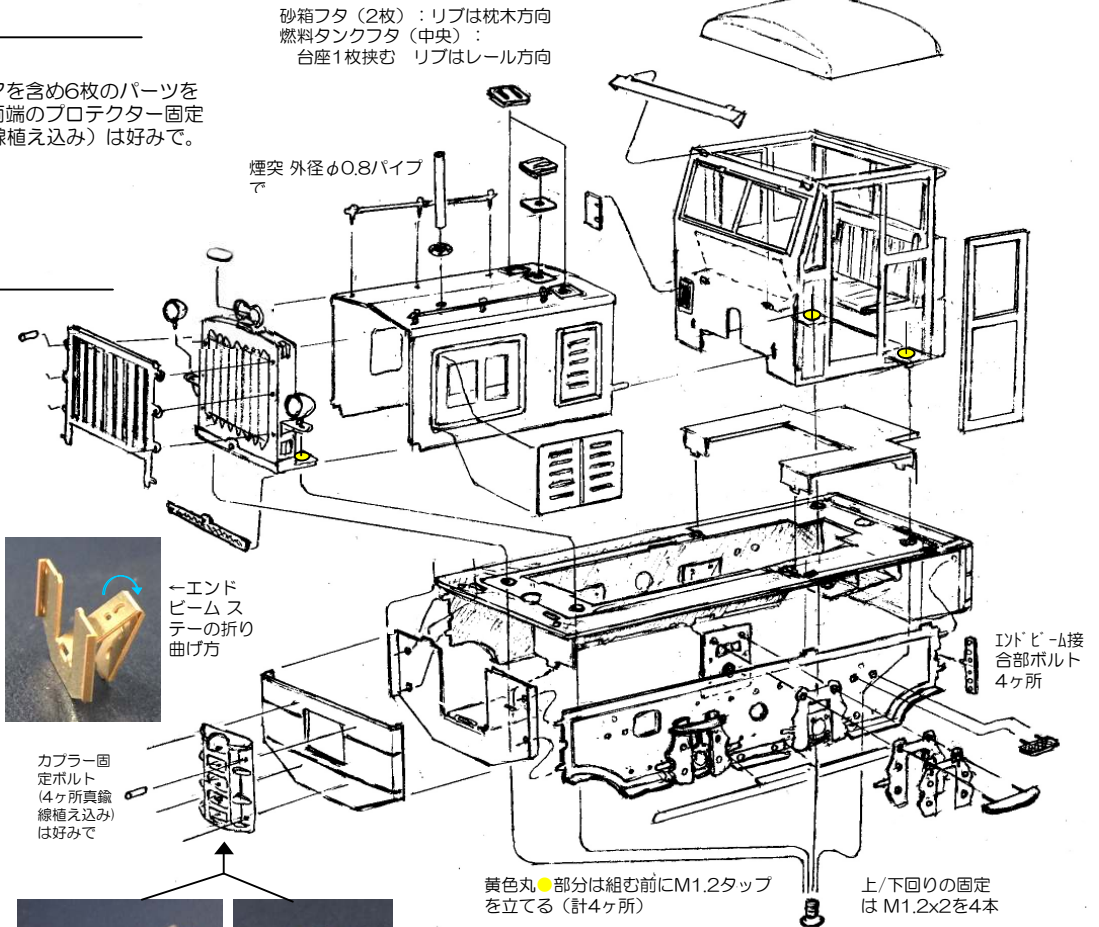
(1) 屋根板側面がわの端から1.5mm位の場所を目印に万力ないしは目玉クリップで啞え、強く折り目がつかない程度に70度くらい曲げる。



(2) 肩の内側にφ2位の丸棒（ドライバーないし爪楊枝）を当ててカーブを調整。屋根天面の裏側を指の腹で軽く押し、全体のカーブをつける（ランナーのテンプレートを参考に）

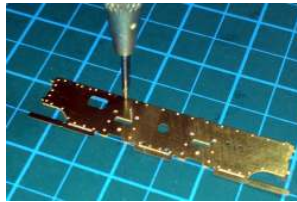


(3) 表面は下から1.5mm位のところで万力にくわえて折り曲げ、最後にハンダ付で組立て。



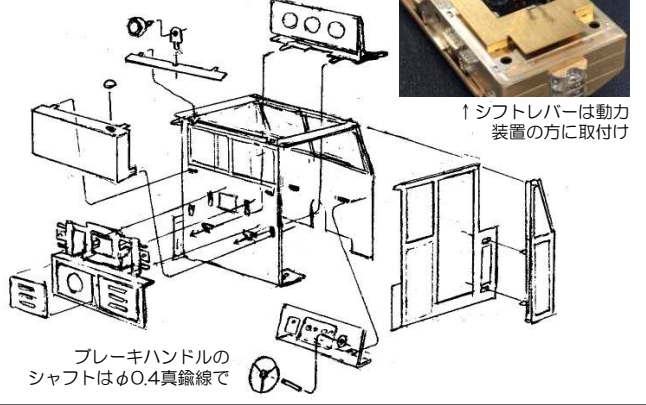
↑カブラー部品 各々 折り曲げ前と折り曲げ後

← 側台枠下端のリブの曲げ方
↓ 側台枠の縁取りのリベットを再現したい場合はケガキ針等で裏から押し出し



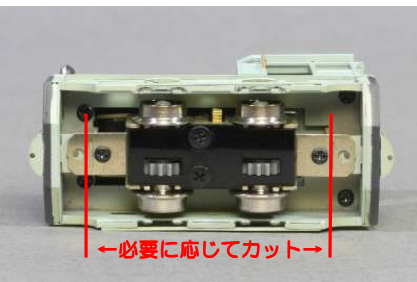
背面側

キャブ妻板の部品はきわめてデリケートなので、箱状に組むまで扱いに注意

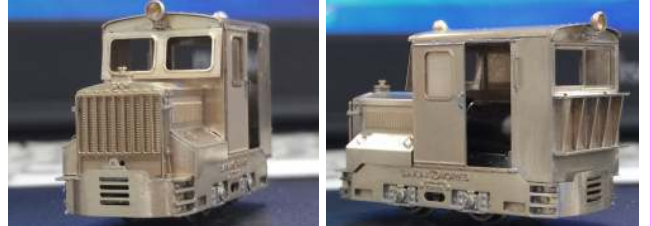


■専用動力の取付け方

アルモデル製専用動力は、モーターをボンネット側にして装着。車体との固定ピスはM1.2x2を2本使用（動力に同梱）。車体下部のステーの両端は、キットのものではなく他社製カブラー（ケーティ-等）を取り付ける場合にはカットする（右写真赤線参照）



←必要に応じてカット→



おまけパーツには、昨年の『千頭/三塩の酒井3.5t』のキャブの追加バリエーションで、音水森林鉄道にいたL型車体機のキャブ部品（前面窓、側扉、後妻板）を盛り込みました（キャブ本体は『千頭L』を使用）。前面Hゴム窓と、背面の突放追突対策用プロテクターが特徴。